

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	運動公園周辺地区公園施設新設事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	07	02
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	本田 英師			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	運動公園周辺地区内の公園等	意図	土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園等の整備を行い良好な環境形成に資する。
事業内容	つくばエクスプレス関連地区の運動公園周辺地区内の公園等について、施設整備事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	運動公園周辺地区内公園整備面積	1.20		0.30	ha	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
総合運動公園の大型複合遊具を設置した。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			34,139,600
事業費(b)(円)			32,821,200
うち一般財源			32,821,200
職員給与費(c)(円)			1,318,400
人役・職員(人)			0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	県（区画整理）との協議を密にしている。	③取組における課題(Check)	区画整理事業が施行されている区域のため、工事の進捗状況に合わせて工事を進めて行く必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	県（区画整理）と委託箇所を調整し、次年度への整備準備を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	県の実施する区画整理事業の工事進捗状況に合わせて工事を実施する。

行政報告書

事業名	運動公園周辺地区公園施設新設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	08	土木費		
施 策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理			04	都市計画費		
					07	公園費		
主管課	みどりの課			主管課長	本田 英師		事業コード	02 - 70
事業目的	対象			意図				
	運動公園周辺地区内の公園等			土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園等の整備を行い良好な環境形成に資する。				
事業内容	つくばエクスプレス関連地区の運動公園周辺地区内の公園等について、施設整備事業を実施する。							
事業の実績（指標）	運動公園周辺地区内公園整備面積	0.30	ha	決算額	事業費計		32,821,200 円	
					財源内訳	国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
						その他特定財源	0 円	
			一般財源	32,821,200 円				
				職員給与費		1,318,400 円		
				事務事業の総コスト		34,139,600 円		
指標で表すことができない定性的な成果				繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無

職員給与費は、事務事業マネジメントシートにおいて積算した費用を掲載しています。